



ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動を
つづ 続けています。

くろするろ〜ど

2025/4月号 第302号

かいほうし
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



げっかん がつ
〜サロン月間カレンダー4月〜

こくさいしよく だいせいかい
「国際色にみちて、大盛会」

どようごご かんどう くにお
土曜午後ボランティア 漢人 邦夫

■日本語学習会

にほんごがくしゅうかい
日時：4月7日(月)～4月30日(水)
月(午前・午後) 水(午後) 金(午後・夜)
土(午後)
場所：会議室・学習室ほか

参加者132人がステージだけでなく会場全体で一緒に踊る様子は圧巻でしたね。学習者さんとボランティアと一緒に楽しむという「サロンの集い」の目的が作られている瞬間でした。

■実行委員会

じっこういんかい
日時：4月9日(水) 午前10時～昼12時
場所：学習室1・2

5年ぶりでしたが、50名を超える17か国の学習者の方が参加してくれて、踊りや歌を披露してくれました。国際色にみちみちていましたね。皆さん練習がたいへんだったとお聞きしています。文化交流部会の方々に改めて感謝です。

■文化交流部会・お花見&ワールドカフェ

ぶんかこうりゅうぶかい ほなみ
日時：4月5日(土) 午前11時半～午後3時
場所：府中の森公園
対象：学習者とボランティア
参加費：無料
(各自お弁当・飲物を用意、持ち寄りも可)

軽妙な司会の岩谷さんがゲームを考えてくれました。あそこまで真剣に答えを議論していただけるとは思ってもみませんでした。結果、10問中、9問を正解した「うし」グループのぶっちぎりの勝利でした。

■同上・生け花教室

どうじょう いばなきょうしつ
日時：4月18日(金) 午前10時～11時半
場所：工芸室
定員：8名 ※材料費800円が必要

お菓子の会の方々には120名分を3時間で作らないといけません。材料費も100円程度にしてもらいました。おいしくて珍しい外国のお菓子をいただきました。約20名の方々に感謝です。

■フューチャー休館日

4月5日(土)・22日(火)は、フューチャー全体がお休みです。

「サロンの集い」準備委員会は5月から7回実施しました。夜の会ではなく午後の会にして会費も多くの人に参加してもらおうと300円に設定しました。毎回、たくさんの新しい提案があって、とてもクリエイティブな打合せができました。そして当日はテーブルリーダーとして仕切っていただきました。12名のメンバーあつての成功であったと思います。たくさんの方々のご支援のおかげで楽しい会ができました。毎年続けていきたいですね。

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。



世界の文化

「日本語学習発表会の原稿を紹介」

2024年12月14日(土)に、日本語学習発表会がありました。そこで発表された内容を随時、紹介します。

「失敗から学んだこと」

サプコタ・ジャムナ (ネパール)

みなさんこんにちは。本日はきちょうな時間をいただき、ありがとうございます。サプコタ ジャムナと申します。

ネパールから12年前に来ました。勉強や人と話すのが好きです。10年間の間は勉強しなかったのですが、今は府中国際交流サロンで勉強しています。日本の文化や祭りや食べ物などが大好きです。納豆も好きです。自分と子供の生活のためにマクドナルドでアルバイトしています。

私は日本に来たばかりは日本語が全然わからず、失敗ばかりしました。最初は「はい」だけ覚えましたが、分かって「はい」、わからなくても「はい」と言いました。大家さんに「座りなさい」と言われても私は意味がわからず立っていました。大家さんがもう一度「座りなさい。意味が分からないの？」と聞かれました。またも「はい」と返事しました。大家さんが私の手を引っ張って座らせてくれました。その時にわかったら「はい」、わからない時は「分からない」と教えてもらいました。

最初、働いた時、言葉がわからず、“どうすればいいですか？”と聞いたら同じ国の先輩から教わったこと、“はい”と、“すみません”と、“ありがとう”、“ごめんなさい”の4つを覚えればOKよ”と言われました。でもとても大変でした。

日本のお寿司は魚を生で食べることにびっくりしました。初めは臭いかな？食べても大丈夫かな？と思いましたが、でも食べたら美味しかったです。

長男の卒園式にみんなはきれいな格好で来てい

ただ、ひとつ大きなミスをしてしまいましたがお気づきでしょうか？ステージの設置が小さくなってしまいました。そのため、サロンの集いの横断幕の位置が左にずれています。気づいたのが、すでに机も椅子も設定したあとだったので強行しました。大反省です。



「サロンの集い」に参加のみなさん



全員で踊る『ダンシング・ヒーロー』

ましたが、私はいつもと同じ服で行きました。とても恥ずかしくなりました。次男の時は私も綺麗な格好で行きました。

サロンを1年前に市役所の人が紹介してくれました。その前は自分で仕事しながら少しずつ覚えしました。N4の検定試験を受けましたが初めは落ちました。2回目は、今年(2024年)7月に合格できました。とても嬉しくていい気持ちになりました。

私は日本が大好きです。これからも日本のルールや文化を学びながら日本に住みたいです。

今までお世話になった方やサロンの先生方々にとっても感謝しています。これからもよろしくお願ひします。聞いていただきありがとうございます。

「日本とフィリピン」

ロキータ・モンテス (フィリピン)

みなさん、こんにちは。わたしの名前はロキータモンテスです。今日はこちらにお集まりいただきありがとうございます。



日本とフィリピンという素晴らしい2つの国と、人々の様々な生活について、少しみてみましょう。

日本では、生活のペースが速く、行動は組織化されています。人々は時間を厳

守し、規律正しいことで知られています。スケジュールは厳密で、公共交通機関は時計のように、運行しています。時間と順序を重視する、この姿勢は尊重と効率を重視する日本の文化を反映しています。清潔さも重要です。通りはきれいで、人々は共有スペースをきれいに保つよう注意しています。仕事は非常に真剣に考えられており、多くの人が長時間を仕事についてやしています。この献身的な取り組みにより、日本はテクノロジーとイノベーションにおいて世界のリーダーとなりました。

一方、現在、フィリピンでは、よりゆっくりとリラックスしたペースで生活が進んでいます。ここでは家族とコミュニティが最優先されます。人々は愛する人と過ごす時間を大切に、あたたかさとおもてなしで知られています。フィリピン人の精神は回復力があり、楽観的です。たとえば、困難に直面しても、フィリピン人は笑顔で団結する理由を見つけます。

バヤニハン(bayanihan)、つまり共同体の団結という、概念が強いです。フィリピン人は、困った時には、おたがいに助け合い、深い共同体意識を示します。また、フィリピンの人々はみんなでいっしょに集まって食事を分かち合います。

日本は規律と構造を重視しますが、フィリピンはつながりと順応性を重視します。たとえば、日本では個人の責任感が強いです。人々は全員の利益のために周囲を秩序正しく保ちます。

しかし、フィリピンでは柔軟性が重要です。人々は時間に余り束縛されず、代わりに人生を楽しみ、人間関係をきずくことに集中することがよくあります。

このような違いにもかかわらず、両方の文化には多くの魅力があります。日本の正確さと、労働倫理は、私たちに献身の力を教えてくれます。フィリピンのあたたかさや回復力は、コミュニティの強さと積極性を示しています。

結局のところ、両国は素晴らしい教訓を提供してくれるのです。日本は私たちに責任感と勤勉さを思い出させてくれますが、フィリピンは私たちにつながりを保ち、あらゆる瞬間に喜びを見つけることを思い出させてくれます。

みなさん、どうもありがとうございます。



がくしゅう かい
学習会だより

金 「ビンゴを楽しむ！」

きんようよる たの
金曜夜ボランティア 田路 睦生

3月21日は令和6年度の最後の学習会でした。金曜夜の学習会では毎年お楽しみ会を開催しています。この日は学習者、ボランティア共に16名、合計32名の参加でした。7時から8時までは通常の学習をし、8時からビンゴ大会をやりました。

金曜夜の学習者は働いている方がほとんどで、仕事によって参加できないこともあります。今の学習者は毎回参加してくれています。これもボランティアの皆さんの指導のおかげと思っています。

若狭前部会長のビンゴソフトでくじを引いてきました。15回ぐらくじ引きが終わった時点でもう8名のリーチがかかっていますが、それから中々ビンゴがでず、最初のビンゴがでるのに20分くらいかかったのでしょうか。それからどんどんビンゴの声が出てきました。ボランティアの皆さんからの景品提供も多くいただき、すべての参加者に景品を渡すことができました。最後に集合写真を撮りました。皆さんの笑顔が本当にすてきですね！

これからも学習者、ボランティアの皆さんの交流を進めて、ますます楽しい金曜夜の学習会にしていこうと思っています。

どようがくしゅうぶかい ほっそく
「土曜学習部会が発足」

仕事をしている学習者を対象にして、2023年5月13日より隔週で土曜日の学習会が試験的に始まりました。開始からしばらくは、従来の学習会(月・水・金)に所属する学習者が多くを占め、当初の目的を果たせませんでした。2023年12月に、府中市在住の外国人数が初めて6千人を超え、それ以降も徐々に増え、それに呼応するようにサロンへの学習登録者数も増えつつあります。そのような状況を反映するように土曜の学習会も働く学習者が増え、昨年末には半数を超えるまでになりました。それを受けて、今年2月の実行委員会で土曜学習会を正式に学習部会とすることが承認されました。

サロン創立当時は金曜夜のみだった日本語学習会も、今や6つの学習会までに成長しました。これからもサロンは、学習者にとって楽しく日本語を学べ、日常生活に必要な日本語を修得できる場として在りつづけていきたいと思っています。(編集部)



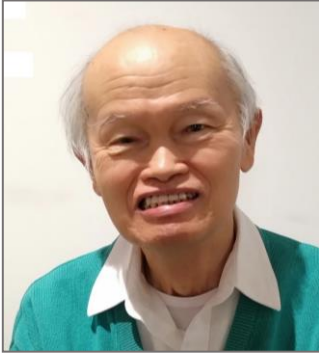
みな

がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

おかばやし ひでお
岡林 秀雄さん (アメリカ)

そ ふ ぼ ふくいけんしゅつしん 「祖父母は、福井県出身」



私のニックネームは、ディナです。英語表記では、OKABAYASHI HIDEO DANAなのです。出身はアメリカ・カリフォルニア州のサンノゼ市です。祖父母が、福井県からアメリカのペンシルベニア

州に移住し、二世の父親が日本のアメリカ軍基地で働いて母親が江東区出身だったので東京生まれです。学校は日本のアメリカンスクール(英語)で過ごし、高校卒業後、アメリカに渡りサンノゼ・シティ・カレッジに入り、人事に関する学問を学びました。その後、日本やアメリカの会社、横田基地などで働きました。

家族は、妹と弟がアメリカに居ます。

趣味は、ゴルフで、テレビのスポーツ観戦も楽しみです。読書は、夏目漱石の『三四郎』や免疫力に関する本などを読みます。

好きな食べ物は、うなぎ、納豆、日本そば、野菜たっぷりのラーメン、アラスカキングクラブ(タラバガニ科)です。性格は、おとなしく勤勉です。日本は縁があるので大好きです。島根の旅館の温泉もいいし、白ご飯が旨く、和室は気分がいいです。

サロンで学べることで、日本語が抜群に良くなります。日本で日本語で生活できるようになります。

好きな日本語は、「日本語」、「日本」です。日本が好きなのです。今後も日本で生活を続けていきたいと思っています。(聞き書き・末田)

しん

新ボラさん こんにちほ

あたらし はっけん まな たの
「新しい発見や学びが楽しみ」

きんようごご しのはら ひろこ
金曜午後ボランティア 篠原 裕子

こんにちほ。私は昨年(2023年)退職し、時間に少し余裕ができたので、以前から興味があったボランティア活動をすることにしました。

日本語をおしえるというとき、思い出す出来事があります。ずっと前のことですが、私にはグデさんというインドネシア人の友人がいました。彼は日本語が上手なので、「10時に間に合うように来てね。」とグデさんに言ったところ、「“間に合う”ってどういう意味ですか?」と質問されました。そのとき私はあらためて、「間に合う」ってどういう意味だろうと考えました。

当時はスマホもなく、いろいろ考えながら説明したら、彼は「ああ、“間に合う”って、cukup(チュクツプ)なんですね。」と言いました。インドネシア語のcukupは、日本語では“十分”と訳されます。それを聞いて私は、「“間に合う”って、cukup??」とおもいましたが、考えてみると、例えば押し売り(!)が来て、買いたくないときに、「間に合ってます」と答えたりします。そのときは“十分です”の意味で使っているのだから、彼の理解は正しいと思い直しました。そして自分が日本語を使うとき意味をあまり考えていないことに気づかされました。

この経験から、日本語を人におしえることは、何気なく使っている日本語について自分自身が意味を考え理解を深めるきっかけになると思いました。今後、学習会での活動を通して、新しい発見や学びがあることを楽しみにしています。



だい かいべんきょうかいほうこく ～第111回勉強会報告～

どうし 「動詞のグループ分けと

『て形』について」

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ
研修部会 萱生 由美子

1月22日(水)に上記のタイトルで山田しげみ先生
の特別講座が開かれ24名が参加しました。

まずは「動詞のグループ分け」です。学校文法と
日本語教育におけるグループの名称の違いは、五段
活用が1グループ、上一・下一段活用が2グループ、
カ変カ変が3グループです。学習者に教える時は、
数の少ない3→2→1の順が負担が少ないです。

『みんなの日本語初級I』では、名詞文(1～3課)、
動詞文(4～7課)、形容詞文(8～13課)の構成にな
っています。

動詞は7課までの基本動詞を学んでいる間に「ま
す・ました・ません・ませんでした」の形を口頭練習
でしっかり定着させること。動詞のグループ分けを
導入するのは、「ます形」がきちんと頭に入り、次の
形容詞文が終わって、「て形」(14課)に入る前あたり
が一般的に多いようです。

日本語母語話者は「ない形」(未然形)を思い出す
と、「ない」の前が五十音図表の最初の母音「あ」の
音になれば1グループの動詞になり、「い・え」の音
になれば2グループです。

例：書きます → 書かない(1グループ)

降ります → 降りない(2グループ)

食べます → 食べない(2グループ)

これを覚えておくと楽にグループ分けが出来ます。

次に「て形」は活用の形が「て・で」になる動詞の
形で、これも3・2・1のグループ順に教えた方が
覚えやすいようです。

◆3グループ：2つだけの例外だと伝える。

来ます → 来て・します → して

◆2グループ：

① 「ます形」の前の音が基本的に「え」の音

食べます → 食べて・寝ます → 寝て

② 「ます形」の前の音が「い」の音

起きます → 起きて・見ます → 見て

※2グループは「え」音がほとんどで、「い」音は9
語のみなので例外として覚える。

◆1グループ：

① [ます形の語幹 い・ち・り] → 「って」

会います → 会って・待ちます → 待って・帰ります
→ 帰って

② [ます形の語幹 み・に・び] → 「んで」

読みます → 読んで・死にます → 死んで・呼びま
す → 呼んで

※「死にます」は『みんなの日本語I』では未習語

③ [ます形の語幹 き] → 「～いて」

書きます → 書いて・聞きます → 聞いて

※例外 行きます → 行って

④ [ます形の語幹 し] → 「～して」

話します → 話して・貸します → 貸して

「て形」の1グループを覚えるための替え歌として、
『サンタが街にやってくる』(「い・ち・り/って」「み・
に・び/んで」「き/いて」「ぎ/いで」「し/して」をメ
ロディにのせて歌う)などが音声で紹介されました。

山田先生の基本からの丁寧な説明が分かりやすく、
盛り沢山の内容で2時間があったという間に過ぎまし
た。尚、動詞グループ分けの導入のしかた、「て形」
の導入のしかたは、当日の資料1、資料3の教案例
をご参照下さい。

私達が日本語ボランティアとして知っておくべ
き知識と、学習者に何をどれだけ教えるかは異なる
ので、学習者に合わせた教え方を考えるのは、いつ
の時も私達ボランティアの課題です。



日本語おちほひろい ~86~

「花のちるらむ」

きんようよる わだ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田 泰弘

沖縄から開花が始まった桜も、この号が発行されるころには、府中では満開をすぎ、花びらが風に舞い散る花吹雪が目を楽しませてくれていることでしょう。地面に散り敷かれて一面を覆いつくす花びらは、さながら降り積もった雪の趣があります。

先日、テレビのある番組で日本各地の桜が特集、紹介されました。沖縄編では、女子高校生がコメントをし、「沖縄では花吹雪が見られないんです」と嘆いていました。えっ、桜は咲くのに花びらが散らない？いったいどんな桜なのでしょう。

コメントする女子高校生は、東京で大学生活を送る兄の下を昨年尋ねた際、花吹雪に遭遇し、初めて見たその光景に感動したと語っていました。彼女は、高校で『百人一首』のクラブに所属しており、特に「ひさかたの光のどけき 春の日に しづ心なく 花のちるらむ」が好きとのことで、東京で見た華麗に舞う花吹雪が「花のちるらむ」を解き明かしてくれ、やっと歌の世界を理解できたとも語っていました。さらに沖縄の桜については、「緋寒桜（寒緋桜ともいう）という種類で、濃いピンクの花をつけるが、花びらは散らず、椿のように花ごとボットンと落ちる」と説明していました。沖縄には花吹雪が存在しない訳が、これでわかりました。

『百人一首』の96番には、「花さそふ 嵐の庭の雪ならで ふりゆくものは わが身なりけり」という歌があり、前出の、「しづ心なく」絶え間なしに降りそそぐ花吹雪に対し、春の嵐で舞い散った花びらが、一面に積もった雪のような景色を描いています。「ふりゆく（降りゆく）もの」は桜だけではなく、「ふりゆく（古ゆく・経りゆく）もの」は我が身でもあると、散り積もった花びらに、作者は自分の老いを重ねているようです。春はめぐり、また桜も咲きますが、老いた身には、あといくつの春を迎えられるか…。我が身にも沁み入る歌です。

みんなの広場

「日本語教授法研修会開催のお知らせ」

前年度に引き続き、今年度も下記の要領で「日本語教授法研修会 I・II」を開催します。

◆教授法研修 I の日程：

5月8日(木)～7月17日(木)

◆教授法研修 II の日程

9月4日(木)～11月13日(木)

以上、毎週木曜日の全22回

但し、研修 I には、中村則子先生の「音声講習会 I」（6月12日）が、研修 II には寺岡奈都子氏の「在留資格講習会」（10月9日）が含まれます。

◆時間：午後2時～4時

◆場所：学習室

◆定員：20名（『広報ふちゅう』で募集・抽選）

◆参加費：5千円（別途テキスト代2500円×2）

◆講師：山田しげみ先生

(TUPS オープンアカデミー講師)

*なお、現ボランティアの方々も聴講（5名まで）できます。詳しいことはサロン事務局にお問い合わせください。（研修部会）

☆・・・☆・・・☆・・・☆

「『桜まつり』に参加しました」

第54回「府中市民桜まつり」が、3月22日(土)・23日(日)の二日間にわたり府中公園において開催されました。桜の開花には至りませんでした。二日間、好天に恵まれ春のポカポカ陽気に、家族連れをはじめたくさんの方が足を運んでくれました。サロンもブースを出展し、日ごろの活動をPRしました。学習者(5ヶ国9名)も参加し、子どもから大人まで、ブースに立ち寄ってくれた人たちの名前を自国の文字に書き換えるサービスをし、小さな国際交流

を交わしました。初日の午後には、文化交流部会のメンバーが中心になり「民踊流し」にも参加しました。民族衣装を身にまとった学習者(10ヶ国10名)、そしてボランティア4名が『府中音頭』や『純烈魂』ほか全6曲に合わせて息のあった踊りを披露しました。二日目には、高野市長も参加され、サロンのブースにも立ち寄っていただき、日ごろの活動の説明に耳を傾けていただきました。

二日間、お手伝いいただいた皆さまには誌面を借り、お礼を申し上げます。(実行委員会)



来客の名を自国の文字で書く学習者

また、利用していた以下のメールアドレスは利用できなくなります。

mail@fuchukokusai.gr.jp

新しいメールアドレスは、別途、学習会等でお知らせいたします。(会報部会)

「編集後記」

フチュールに活動の場を移してから2年が経とうとしていますが、この間、コロナによって奪われた多くの活動を復活させることができ、その中でも前年度の最後(3/1)に「サロンの集い」を開催できたことは大きな収穫です。殊に、今回の「サロンの集い」を推進した準備委員会の中で、新しいボランティアさんたちの活躍ぶりが光り、サロンの明るい未来を予感させるものがありました。当日の盛会ぶりは巻頭の報告にあるとおりです。

新年度の大きな行事の一つに、サロンの30周年を記念する「サロンの集い」(来年1月31日(土)バルトホールにて開催決定)が控えています。

新しいボランティアさんを中心に、ベテランのボランティアさんとのコラボレーションで、サロンの歴史に残る「サロンの集い」が実現することを願っています。(和田)

「ホームページをリニューアル」

4月上旬に、ホームページをリニューアルいたします。それに伴いURLも変更いたします。

過去のURLは、<https://www.fuchukokusai.gr.jp/>でしたが利用不可となり、リニューアル後は、<https://www.fuchukokusai.com/> となります。

リニューアル後のホームページは、デザインを一新しましたが、掲載情報は従来のものに少し情報を加えた程度です。今後、機能を追加して更に使いやすくしていく予定です。みなさんのご意見もお寄せください。

【創刊】 1997年11月
【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：末田・和田・堤林・岩城
【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<https://www.fuchukokusai.com/>

